

日本の国は日本語から立て直そう

～言葉を磨けば世界が見える～



言葉はコミュニケーションの手段と言われますが、それ以上に、思考そのものの手段でもあります。

ですから、言葉がしっかりすれば、考え方もしっかりする。本講演では、その実例をあげながら、世界の見方を考えてまいりましょう。

中央大学理工学部教授 **加賀野井 秀一**

日時：2015年**11月28日**(土)

開場：14時30分／講演：15時～16時30分

会場：**セッション杉並集会室** (杉並区梅里 1-22-32)

交通：東京メトロ東高円寺駅下車 徒歩5分(下図参照)

加賀野井 秀一 (かがのい しゅういち)

フランス哲学者、中央大学理工学部教授。高知市生まれ。

1983年中央大学大学院文学研究科仏文学専攻博士後期課程中退

1987年中央大理工学部専任講師、1990年助教授、1998年教授。

【専門分野】言語学

【研究テーマ】メルロ＝ポンティ研究、現代思想研究、言語学研究 ※2008年～

【代表的な著書】『メルロ＝ポンティ 触発する思想の教科書』『ソシール』『日本語は進化する』

2015年度

中央大学学術講演会

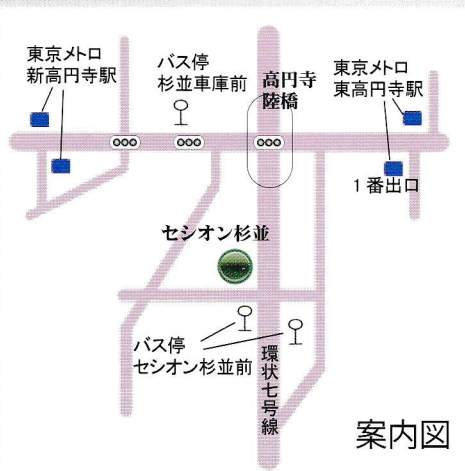
主催：中央大学

中央大学学員会東京杉並区支部(杉並白門会)

後援：杉並区教育委員会

連絡先：白沢 節子 Eメール:jigyou@suginami-hakumonkai.net

※入場無料 直接会場へお越し下さい。



案内図